

H30年度 教育目標達成のための方策

校訓 じりつどくそう 自律独創 じがくじしゅう 自学自習 きんべんりっこう 勤勉力行 めいろうかつたつ 明朗闊達

教育目標 「一人ひとりを大切にし、生きぬく力を育む」

具体目標

- (1)自分と他人を大切にす豊かな心を育てる。《心の教育》
- (2)共に学び、高め合い、確かな学力を身につけさせる。《基礎基本》
- (3)よい生活習慣を身につけさせ、心身共に健康な生徒を育てる。《心・技・体》
- (4)”日々実践”こそが第1の研修：研修を大切にす。《切磋琢磨》
- (5)家庭・地域から信頼を得て『共育』を行う。《地域共育の基盤》

目指す学校像

- (1) 生徒が学んでよかったといえる学校
- (2) 保護者・地域社会に信頼される学校
- (3) 教職員の創意と協力を基盤にした生徒と共に創る学校

地域、保護者と連携をして共に学び、育む『共育』を目指す

『チーム小田北』

目指す生徒像

- (1)自分を大切にし、他人を思いやる生徒
- (2)共に学び、高め合う事に喜びを感じる生徒
- (3)自らの力で未来を切り拓く、たくましい生徒

目指す教師像

- (1)子どもと豊かなコミュニケーションをとる教師
- (2)日々専門性の向上に励む教師
- (3)使命感を持つ教師

教育目標等を基に各学年目標・学級目標を立ててください。

1 教職員が働きがいのある学校を目指す。(勤務の適正化を図る)

(教職員が元気 生徒が元気 保護者地域の協力が得られる 教職員が元気に働ける)

教職員が心をつなげて、“チーム小田北”として、お互いの立場を理解し合い、支え合う。

教育者として資質向上に努めプロ意識を持つ。学校・保護者・地域・関係機関との協働体制を作る。

2 生徒が行きたくなる(喜んで登校する)学校、保護者が行かせたくなる学校

地域が応援したくなる学校を目指す。

生徒に夢を持たせ、目標を持たせ、それに向けて努力させ、それを支援する。

3 地域、保護者、関係機関と連携して共に学び、育む『共育』を目指す。

学校・保護者・地域・関係機関のそれぞれの役割を明確にしながも、

連携をとり共に育(そだ)て、育(はぐく)む気持ちで取り組んでいく。チーム小田北

この三つのことは、先生方が常に頭に置いてやっていって下さい。

「生きぬく力」を育む教育の推進 <教科指導・学習指導の充実 学力の向上>

自立(自ら考え、行動する生徒・学ぶことの喜びを感じる生徒)

1 「わかる授業」実践への工夫・改善... 指導方法の工夫や言語活動を充実させた教科指導の計画

日々、工夫・改善をして、全員が参加できる授業と学級経営の創造・組織的な生徒指導を **次期指導要領の**

事も頭に置き方向性をとっていく!

(1) 授業時数の確保 **総授業時間数(1,015 時間)、各教科標準時間数の確保**

(2) 少人数授業によるきめ細やかな指導 **指導方法の工夫改善重点校**での加配 0.6

県教委加配：新学習システム 1(臨時) = 教科：英語

(非常勤)0.75(週 29 時間) + **0.6(週 23 時間 15 分)** = 数学

市教委：アクティブラーニング(週 2 4 時間) = 教科：未定(授業等補助)

：家庭学習指導員(週 10 時間)未定(宿題をまとめ・放課後学習 PC 室利用)

(3) 基礎・基本の定着と学力向上 **指導方法の工夫改善重点校**

“基礎学力を充実させ、互いに高め合う授業作り” を目指して... 研究主題

各教科又は学年での工夫(低位生徒減・中間層底上げの工夫)

放課後、長期休業中の補充指導・質問日、朝学習、宿題等による **家庭学習時間増**

一人で机に向かう時間を増やす ... **家庭にも啓発**

児童生徒支援加配の活用 T T の T 2 で支援 基本的学習習慣等指導

学力定着支援事業：補助員による平日・土曜・テスト前学習（全学年）**（改善が必要）**

夏季休業中10日間前後（中3）...教科担当との連携を目指す

(4) 生徒の学習定着度確認 文科省学力テスト（中3）悉皆調査 **4 / 17（火）**

市教委：学力調査（**中3：6月1日・11月2日**）

市教委：**あまっこステップアップ事業（小1から中2までの学力調査）1月中旬頃中1・中2**

年度内個人票アドバイスをしながら返却 小1から中2まで引き継いでいく

定期テスト・各種テストの充実 **評価基準、規準を示す・評定の根拠を示す。**

2 読書活動の推進 図書館の活用充実 委員・図書ボランティアによる運営 読書活動推進

3 教育機器・特別教室の活用 視聴覚・LL・コンピュータ教室

新ICT利用と有効活用、**家庭学習支援事業Eライブラリの利用促進（3年目EFSクラブ）**

4 学習習慣（家庭学習）の確立 週末学習課題 各教科での工夫と学年・学級担任との連携

5 特色ある学校づくり 総合学習・「行事の小田北」「こころの教育」・「福祉教育」

6 作品の展示、発表の機会 文化発表会、音楽祭、英語祭、各教科研究会等

7 検定試験の奨励 英語検定金曜日放課後**（教育振興事業1,000円補助）**、各種検定の実施検討

敬愛（自分を大切にし、他人を思いやる生徒）

1 道徳 年間計画による各学級・学年での実施 公開授業の実施

H31年度特別の教科道徳を見据えてH30年度もオープンスクール時に**全クラス公開します。**

2 あいさつ運動、自主的・自律的な活動、地域と連携した緑化活動（学校周辺等）

3 学校行事、生徒会、委員会、部活動等の推進

4 生徒指導 担任の個性を生かしながらも組織的な学級経営の充実を図る

担任・副担・該当者 学年団 生徒指導主事 管理職の徹底

組織的な指導体制と関係機関との連携と**早期対応のため報告・連絡・相談**

原点：1時間、1時間の教科授業、学級経営による生徒指導...学級経営と教科指導の充実

各学年内外の連絡調整・情報共有...授業を空にしない。緊急以外生徒は授業に。

5 特別支援教育 特別支援学級との交流、該当者の個別指導計画の作成

6 不登校指導 **連続3日は必ず家庭訪問**による本人及び保護者の状況把握**（協力体制）**

7 特別支援コーディネーター、教育支援員、スクールカウンセラー（週1回）や関係諸機関との連携

市教委：学校訪問指導員、はつらつ学級、県教委：山の学校、やまびこの郷

8 教育相談の充実 アンケート実施 **年3回**（3学期は希望制）、長期休業中の**活用促進**

いじめアンケートも実施

精励（自らの力で未来を切り拓く、たくましい生徒）

1 教科体育の充実 2 体育的学校行事の充実 **3キャリア教育** 職業調べ（1年）トライやる（2年）

進路指導（自己理解・生き方指導）

上級学校説明会・公立学区拡大4年目（保護者対象あり・PTA連）・面談等（3年）

4 宿泊学習（1年）・修学旅行（3年）の実施 行動様式、都会にない自然体験活動

5 保健だより等の活用

6 生徒会活動の活性化 本部、委員会、行事等実行委員会の活性化

7 防災訓練の実施 年2回実施規定

8 人権教育、食育、環境教育 **全校一斉実施：人権作文(h28年度感謝状)**

9 部活動の活性化 **活動計画(ノー部活デー・下校時間等)を広報**

運動部活動ガイドライン(文科省 h30.3月)確認・理解、方向性

より多くの教員が部活動に係わる体制

・異動等により顧問不在の時（年度末又は総体までの顧問 外部コーチ招聘）

今年度の外部コーチ（未定）茶華道、**サッカー**

・学校外スポーツ活動（小田北中の名称使用）水泳... 中体連の主催の大会：市・阪神・県大会

部活動の充実を図る...活動と休養のバランスをとる。下校時間の徹底・練習計画を立てる

(年間計画・月々の計画等を部活動担当に提出)

(部活動の充実・部活の整理する。廃部も視野に入れながら)

1週間1日の休養日、1ヶ月土日に2日の休養日を取ること(県への報告と4号業務との整合性)

家庭と地域の理解と協力を得る（**保護者会開催等各部署で確実に実施する**）

下校時間（2～11月：午後7時 12～1月：午後6時30分 市の申し合わせ事項）

完全下校です。30分延長の特例大会がありますが、申告して下さい。

尼崎市校長会の申し合わせ事項改訂方向に動く。活動時間短縮

「地域とともに歩む学校」『共育』を目指す。

「信頼・責任・誇り」を基にした活動の充実

- 1 学校公開（5月・10月・1月(土)：新入生説明会）、保護者懇談会（7月・12月）の実施
- 2 広報活動（情報の発信） 学校便り、ホームページ、各種たよりの発行
新PTAメールの活用（保護者に登録奨励）
- 3 学校評価等の実施と公表
- 4 保護者対応

時代の変化と共に保護者の価値観は多種多様化している。「**保護者を被告席に立たせない**」ような対応

学校内で起こったこと：**保護者へ早期報告・初期対応に注意 学年内での情報交換**

- 5 小中連携... **9年間で育てていくという意識の醸成**
生徒会交流・小6の部活動体験・年度末の情報交換・**英語科の連携強化**
教員相互に学校訪問、夏季合同研修、クラス分け、小6へ出前授業

- 6 地域との協働・参加 地域コンサート等参加・夏季休業中の組織的・計画的補導活動

教育環境の整備と校務処理・職員研修

- 1 諸会議の効率化と計画的な組織運営・校務処理 **定時退勤日 18時（毎週月曜日）**

電子化による事務処理(サーバーS・Xの利用)、

スズキ校務による処理（市内統一へ） 指導要録等遅れたら市内全体に影響！

より一層会議の統合・精選化（生徒と向き合う時間を増やす）職員会議は電子化

出勤簿押印、市教委等宛書類・点票交換 提出期限遵守 **より一層の意識改革必要**

事務処理は、サーバーX利用・スキルアップし迅速確実に 生徒と向き合う時間優先

学校評価（教員用）・行事後のアンケートをスズキ校務にて処理

教師も“時を守り 場を清め 礼をただす”約束事の厳守・1日の日程は前の白板

- 2 個人情報の管理 Sサーバーでの管理 **個人情報入ったUSBは持ち出し禁止**
- 3 環境整備・美化 学習環境の整備（教室） 校内外緑化推進：生徒会美化委員会
- 4 職員研修・作業 夏季休業中(道徳・人権、特別支援、SC、小中連携等)・職員作業

個人・校務分掌としての研修報告をまとめてXホルダーにて管理し全職員に知らせる

- 5 服務事故、学校事故の防止 危機管理意識の高揚、安全指導、交通事故防止

6 会計 学年会計（教材費）**出納簿：厳格化される**・行事関連会計・部活動（市教委委託金・部費）

教材の選定にあたっては私費負担の軽減に心がける。**滞納させない努力を**

透明化を図り、保護者に会計決算を確実にを行う（集めたお金は決算報告）

日々、計画的・組織的に実践

年間行事計画・月中行事計画に従って動く。**原則変更はしない。（計画性を持って進める）**

早めに案を明示し共通理解を図る。 そのためには、案には何のために（目的）・誰が何をするか役割分担等を明確にしておく。不慮の事情や想定外は臨機応変に動く。

学習指導や行事等終了後は、反省・感想などを元に**次年度の計画する。**

（終了時点で次年度概要案を決める方向へ）P D C Aサイクルの意識・次のPまで意識

組織的に動く（学年・学校単位）みんなで動く（一人で悩まない、動かない）

個人・学年間 学年・生徒指導・教務主任 教頭 みんなで動くように心がける。

***特に学年がまたがっているとき報告連絡相談は徹底**

そのためには情報共有・共通理解 計画的な事前の準備（作戦）が必要

3年間を見通した指導を（保護者に説明責任を果たす） 8割以上の保護者が納得する説明が必要

今は時の流れが速い。10年ひと昔ではない。3年ひと昔？

経験や知識は大事だが、毎年同じ事をしていては？ 常に自己変革の意識が必要です。

*前例踏襲より、前例はないが理にかなない生徒の実態に合致し、生徒のためになることは検討し、実現可能なら実行します。新しいアイデアを出して下さい！まずは、相談です。そして、報告・連絡はこまめにする。

***但し、教育の根っこは不易です。**

“信は万物の基をなす” すべての基本になるのが、信頼関係である

（教職員も生徒も保護者も地域も関係機関も）

5月以降 職員面談を随時実施していきます。平成30年度の個人の目標を設定してください。

スティーブ・ジョブズ…

「私のビジネスモデルは、ビートルズ。欠点を補い合い個々の力以上の力を発揮していた。

偉業は、個人之力ではなく『チームの力』によって成し遂げられるのだ」

『懸命』に働くな！ 『賢明』に働こう！